







お花の栽培シリーズ「ヒマワリ」

2009年4月	卯月(うづき)・卯花月(うのはなづき)・鳥月(とりづき)・花残月(はなのこりづき)・夏初月(なつはつき)・余月(よげつ)	●春まき草花の種子まき時期
心待ちにしていた季節の到来です。庭は、活気づき、華やいだ雰囲気があふれます。病害虫の発生が、盛んになる時期でもあるので、防除の手入れは早めにしましょう。		
庭木の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ウメやサクラにウメムシが発生する前に、害虫駆除を定期的に行いましょう。 ・落葉樹を「とり木」でふやすなら、この時期に行いましょう。 	
草花の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・春まきの草花をまき終える ・病害虫の発生がさかんになるので、早めの予防をしましょう。 	

今月の誕生花	チューリップ・デージー・ワスレナグサ	
今月の花	スイートピー 花言葉 / デリケートな青春の喜び、別離、微妙、門出、優しい思い出	
	日本には江戸時代末期に入ってきました。エンドウに似て香りがよいことから、当時はニオイエンドウ、ジャコエンドウなどと呼ばれていました。スイートピーのスイートは、花の場合は香りのよいこと、ピーはマメという意味です。	
	原産地は地中海沿岸で、17世紀末に、地中海のシチリア島でイタリアの僧フランシス・クパーニーによって紹介されました。当時は花がずっと小さかったものが、その後イギリスで改良が重ねられ、今のように花が大きくなったそうです。学名のラティルスは、ギリシャのテオフラストスの薬種書に、マメ科の植物の名として出ています。	
	一説によると、「ラ」は「きわめて」、「ティルス」は「原動力になる」という意味で、ある種の薬に役立つといわれていたようです。	
	品種名は、「香りのある、香りの強い」という意味です。花の形が、今にも飛び立っていきそうな蝶のようだということから、『門出』という花言葉になったようです。	
原産地はイタリア、シチリア島。マメ科ラティルス属(ハマエンドウ属、レンリソウ属)のつる性1年草。草丈は30cm～60cm(矮性種)。開花時期は12～5月。最盛期は3～4月。葉の形状は、互生、羽状複葉、小葉は下の一對を残し巻きヒゲに変化、長さ3cmくらい。花持ちは4～5日程度で、花色は赤・ピンク、青・紫、白、褐色。英名スイート・ピー(Sweet pea)。別名麝香連理想(じゃこうれんりそう)。		
可憐なスイートピーは花束にしても可愛いもの。現在では、温室で咲く冬咲き種のほか、春咲き種、夏咲き種など、ほとんど1年中手に入ります。		

日当たり  日なた	水やり  ふつう	気温  15~25℃	草丈  30~300cm	花色 
--	---	---	---	--



夏の代名詞ともいえる花です。北アメリカの中西部が原産地。観賞用のほか、種を食用や飼料としたり茎を紙の原料や燃料として使うなど、多くの利用方法があります。高性のイメージがありますが、矮性種も数多く改良されプランターや鉢植えでも楽しむことができます。高性種には、巨大輪咲きのロシアヒマワリや花粉が少ない性質で切り花に向くサンリッチなどがあります。矮性種には、ビッグスマイル、ミュージックボックスなどの品種があります。とくにビッグスマイルはたいへん小さく、鉢植えに向くことで最近人気が高まっています。ベランダや小さい庭、屋上テラスなどにと利用範囲がたくさんあります。性質は強くよく育ちますが、夏期には乾燥させ過ぎないように、敷きワラを敷くなどして乾燥を防ぎます。生育が旺盛で、肥料を多く必要とします。ヒマワリの近くに他の植物を植える場合には、ヒマワリと同じくらい旺盛に生長する植物か、肥料がなくても育つような植物を植えるようにします。アブラムシ・アオムシがつきやすいので、薬剤などを使って防除します。また高温で乾燥する時期には、ハダニの発生に注意します。長雨が続くと、べと病が発生しやすくなるので気を付けましょう。

●種まきからの育て方

堆肥+腐葉土

2~4kg/m² 堆肥 腐葉土

化成肥料 ひと握り/m²

日当たりのよい場所

2~3cm 2~3粒ずつまく

60cm 40~50cm

大輪種 中輪種

【切り花用】

大輪種を切り花にする場合は...

元肥は入れず、追肥だけで育てます



茎を細くして、花径を10~15cmにするため密植する!!

15cm 12cm

発芽したら丈夫な苗1本にする!!

早まきは発芽しないので気を付けましょう。花が終わって種が実ったものをそのまま乾燥させるとちょっと変わったドライフラワーになります。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期 											
植え置き場所	屋外の日当たりのよい場所 											
水やり	表土が乾いたら与える (1~2日1回)				表土が乾いたら与える (1日1~2回)				表土が乾いたら与える (1~2日1回)			
肥料	◎ 元肥				 月に3~4回液肥を与える							
病虫気害	アブラムシ、ハダニなどの防除に薬剤を散布する  べと病に注意する											
作業	種まき 				株元に敷きワラを敷いて乾燥を防ぐ 							